

## 論文番号 34

担当

滋賀医科大学 福祉保健医学講座

題名(原題/訳)

男性上部尿路結石患者の栄養摂取量—アルコール摂取習慣との関連性について—

執筆者

中島洋介、仲森隆子、中島史雄、都島基夫、村井 優

掲載誌(番号又は発行年月日)

日本泌尿器科学学会誌 91 巻3号

キーワード

男性上部尿路結石患者、栄養摂取量、アルコール摂取

要旨

(目的) 男性上部尿路結石患者における、アルコール摂取との関連性の検討を行う。

(対象と方法) 平成8年7月から平成11年7月に上部尿路結石と診断された男性69例と、対照群として尿路結石症の既往・家族歴のない73例を対象にした。各個人の標準体重1kg当たりの栄養摂取量を求め、食塩味覚感受性測定を行った。このデータを基に、アルコール摂取頻度ごとに、栄養、食塩、BMI、脂質摂取量、空腹時血糖値を検討した。

(結果) 連日摂取群で、尿路結石と診断された群(s群)において、高い鉄分摂取量、食塩摂取量、食塩味覚閾値、BMI、低い血清総コレステロール値、週3～5日飲酒群でs群に高い脂質摂取量、全飲酒群でs群に高い空腹時血糖値、および飲酒にかかわらずs群に高い摂取Na/K比であった。

(結論) 飲酒習慣のある男性上部尿路結石患者は食塩摂取が多く肥満傾向であり、栄養バランスの不良が示唆された。